

平成25年度

# 事業報告書

シオン園保育所

1. 施設名 シオン園保育所
2. 種別 保育所
3. 定員 120名
4. 園長名 福田順子
5. 職員 31名 ( 常勤16名、非常勤10名、パート5名 )  
( 園長、主任、保育士24名、栄養士、調理師、調理員 )

6. 措置児在籍数

月齢/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
0歳児	11	14	16	16	17	19	21	21	21	24	24	25
1歳児	29	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30
2歳児	21	21	21	21	22	22	22	22	22	22	22	22
3歳児	32	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30
4歳児	26	26	26	26	26	26	26	26	26	27	27	27
5歳児	31	31	31	31	31	31	31	31	31	32	31	31
合計	150	152	154	154	156	158	160	160	160	165	164	165

6. 事業内容

### 保育の必要な乳幼児の保育

「児童福祉法」、「児童憲章」の本旨とキリスト教精神に基づき、創立者モード・パウラス女史による保育理念『謙遜・献身・愛』の心で、子ども一人一人を大切に、保護者からも信頼され、地域に愛される保育園を目指して、保育の必要な乳幼児の保育を実施した。

今年度は、安心こども基金の補助金をうけ、園舎の全面改築が一年を通して行われ、それに付随した行事(起工式、上棟式、落成式等)も多く、子どもたちにとっても思い出深く、職員にとっても様々な学びを得る機会となった。一日、一日、工事の進捗を見守る中で、新園舎に対する憧れや愛着、期待が生まれ、子どもたちも職員も様々な形でイメージトレーニングが出来たためか、引っ越してからスムーズに対応でき、大きな混乱がなかったことに安堵している。

今までとは違う2階建ての園舎ということで、昇り降りの安全を気に掛けていたが、最初こそ恐る恐る昇っていた子どもたちもすぐに慣れ、一步一步、一段一段昇っていく子どもたちの後姿にたくましさを感じた。どの部

屋も天井が高く、広々として、明るく、子どもたちがのびのびと過ごすことが出来、何よりも食事をする場所、午睡をする場所、遊ぶ場所、着替えをする場所がはっきりと分かれ示されたことで、子どもたちの動きに混乱がなく、構造化によりとても落ち着いて生活できている。また、各部屋の防音がきちんと出来ているためか、他のこと(別のクラスからの音楽や話し声など)に惑わされることなく、子どもたちがそれぞれのコーナーで集中して遊んでいることも新園舎の効果である。天候その他の理由により外構工事が遅れ、芝生の根付きなどのためまだ思う存分園庭で遊べていないが、工事の方々の協力により、この一年の行事や子どもたちの生活に大きな支障をきたすことなく、安全に過ごせてきたことを感謝している。

入所人員は、平成26年度からの定員増(120名から150名に)が決まっていたため、4月より25%増の150名、3月には37%増の165名となり、新園舎が出来るまでは狭い中、様々な工夫をして乗り切った。0歳児入所が多かったため、保育士の補充に苦労したが、卒園した保護者が保育士の経験があり、お願いしたりして、何とか確保できた。これからも保育士不足が懸念され、4月に多くを採用したいところだが、0歳児の入所が変則で、急な変更・取り消しもあり、難しいところである。

職員数が過大になり、全員そろっての職員会や園内研修の時間をとることが難しく、行事やその他についての連絡などの意思の疎通が出来にくいいため、連絡ボードを利用したり、まめに回覧板にしまわし、共通理解できるように工夫した。

毎年入園式後に運営基本方針や保育理念について話しているのもので理解してくれているものと思っていたが、保育士の自己評価(毎年度末に職員から提出してもらう。今年度は様式を考え、折れ線グラフでわかりやすく評価してもらった。)では、「園の保育理念について理解している」の項目の数値が低く、どのように知らせ、理解させ、実践させていくか、大きな課題である。

職員会では各行事について、細かく打ち合わせしたり、役割分担について話し合うが、時間の制約もあり、参加人数も限られるので、いかに効率的に分かり易く議事進行するか、どのように連絡を徹底するかを考え、職員会の記録や行事の計画・記録の様式などを考え直した。

今まではベテランの先生の感化力に頼っていたキリスト教保育やキリスト教の理解についても、牧師先生や研修会、職員会・園内研修の中で系統立てて学びあう体制を作りたかったが、日々の慌しさにもみこまれてしまった感がある。これも大きな課題である。しかし、今年は合志教会との修養会に5名が参加し、それぞれの立場からの発題を聞き、同じ立場のものが話し合ったりする中で、悩みを共有したり、キリスト教保育の素晴らしさを実感したり、良き学びとなった。

また、環境保育についての職員の共通理解のため、熊本市の白羊保育園の協力を得て、職員の半数以上が白羊保育園を見学し、園長先生のお話を聞くことが出来、実際に保育している先生の様子や子どもたち、遊具の提供の仕方、保育環境の作り方について目で見て学ぶことができたのは職員にとって良き意識改革となった。これにより、漠然としていた環境保育の方法がはっきりと示され、保育室の遊び環境の作り方が変わってきたように思う。

子育て支援事業としては、今年も、延長保育、一時保育、育児相談などを行った。希望者は少ないが、必要な事業なので、保育士の勤務時間などを工夫し、対応している。一時保育では、出産のために里帰りしたところの上のお子さんを預かるケースが多く、延長保育では月～土曜の平均7時45分位まで1～4人のお子さんを預かっている。いずれも保護者のニーズを汲み取りながらきめ細かく対応していきたいと思う。

保育園を取り巻く環境は、園舎改築工事によって大きく変わった。19台止められる駐車場が出来、しかもその場所が保育園から見えることで駐車場のマナーは随分改善された。高台に立っているため、明るく見晴らしが良く、鉄筋のため機密性がよいので、エアコンの効率もよくなりそうである。ところどころセメントが露出して危険だった園庭も山砂を入れて整えられ、ザラザラになって滑らない研ぎ石の滑り台も撤去された。下の園庭に

降りる大きな枕木の階段も出来、明るくて見通しのよい園庭になった。元2歳児の保育室は倉庫として残されたので、季節用品の収納に大いに役立っている。主だった木を切り倒さなくてよかったことも感謝である。故障ばかりの放送システムや緊急通報システムも新しくなって安心して使用できるようになり、今まで課題であったことがクリアされ、子どもたちも職員も安心して過ごすことが出来るようになった。

しかし、それとは別に、光化学スモックやPM2.5など憂慮すべき問題も出てきた。5月のバス遠足は、PM2.5の影響で当日目的地を変更する事態となったが、当日職員がしっかりと各バスで説明をし、保護者の理解を得ることが出来た。有事の対応について職員一同で共通の認識を持ち、管理体制を確立しておく必要があることを改めて感じた。

2013年度は園舎の建て替えと言う大きな変化があったが、その中で神さまのお守りと恵みにより、無事に終わることができ、感謝している。素晴らしい園舎が建ち、その中で、子どもたちも職員も本当に落ち着いてゆったりと生活できているように思う。「ありがとう、シオン園保育所園舎の会」のときに、以前の園舎が卒園して何十年もたった卒園生や保護者の方々に今も愛されているのをひしひしと感じた。新園舎がこれからしっかりと地域に根ざし、以前の園舎以上の年月を子どもたちや保護者、地域の方々に愛される保育園となるように、しっかりと管理して大切に使用していきたいと思う。

### キリスト教保育の充実

毎週金曜日、チャプレンの司式で4,5歳児クラスが合同礼拝を守った。子どもたちの生活の中に、合同礼拝が定着し、子どもたちも落ち着いてよくお話を聞いている。

毎日の保育の中にも礼拝のときを持ち、お休みしている子どもたちや、お仕事を頑張っているお父さんやお母さんのことをお祈りする事が出来た。

クリスマスを始め、イースター、感謝祭、幼児祝福式、花の日礼拝、誕生会など様々な行事を通して神さまの御言葉を伝え、今は理解できなくても、いつか御言葉に気付き、支えられる日が来るように祈っている。

また、行事の前にはいつもスタッフが祈り、思いを一つにできることに感謝している。キリスト教保育にとどまらず、大人数となった職員が心を一つにするためにも、礼拝やお祈りが大きく役立っている。そのことも感謝である。

### 家庭との連携について

**家庭通信** ... 毎月「園のたより」を発行し、保育目標・活動・園内の様子などを伝え、保育方針の理解に努めた。

**クラス便り**... 各クラスが「クラス便り」を月2回発行し、より身近でより早い子どもたちの様子を知らせるようにした。

**掲 示 板**... 各クラス前や、園の掲示板に「おしらせ」「おねがい」「現在流行している病気」「忘れ物」などを知らせた。今年はPM2.5の環境汚染の問題で、毎日最新の測定値を表示し、外遊びができない等の理解を求めた。

**アンケート**... 行事や問題点については、アンケートを実施し、保護者の要望をくみ取り、信頼関係の構築に役立てた。

**家庭連絡** ... 登降園時は、保護者とのコミュニケーションの場として、園長・主任をはじめ、な

るだけ1：1で対応し、子どもの情報を共有し、相互理解に努めた。また、連絡帳を活用し、なるだけ密に情報を伝え、会えない保護者とも連携できるように心がけた。

**保護者会** ... 各クラスより役員を選出し、年間8回の保護者会役員会が行われ、夏祭りや運動会などの園行事を支えて下さり、感謝している。

### 地域とのかかわり

**老人ホームとの交流** ... 10月に予定していたが、老人ホームの都合で延期となり、2月に予定を組み直したのだが、今度はこちらがインフルエンザと胃腸炎の流行で見合わせたので、今年度は実施できなかった。

**小中学校との交流** ... 6月10日の「花の日礼拝」後、2グループに分かれ、中央小学校とシオン園、希望の家に手作りの花束を届けに行き、喜んで頂いた。小学校の見学もさせていただき、子どもたちも興味津々の様子だった。

**異年齢児との交流** ... シオン元気っ子まつりや運動会、講演会などに卒園児をはじめ地域の方々を招待し、交流の時をもった。今年は工事の方々もお祭りに参加して下さった。

**その他** ... 園舎建て替え工事のため、起工式や上棟式、落成式が行われ、荒尾市長を始め荒尾市行政の方々、地域の方々を招待した。園児も参加した。

### 給食

乳幼児が一日の大半を過ごす保育所での給食は、成長・発達・健康上、栄養摂取の意味からはもちろんのこと、食育（豊かな食体験を通じ、食を営む力を培う）の意味からも重要である。一人一人の子どもの発育・発達状態、喫食状況、家庭での生活状況を把握し、新鮮で安全な食材を衛生的に調理し、栄養バランス・味・盛り付けを工夫した給食作りを心掛けた。今年度も手作りおやつに力を入れ、新作メニューにも挑戦した。子どもが好きなチーズ、ソーセージなどを使用し、蒸しパンにも変化をもたせた。また、楽しく豊かな食体験を味わわせるために、次のようなお手伝いや行事食への取り組みを積極的に行った。

#### 食育活動

- イースターたまごの飾り付け（4月）
- グリーンピースやトウモロコシなどの皮むき（4月、5月）
- 夕食作り...カレーライス、サラダ、プリンアラモード（8月）
- 感謝祭の野外食...けんちん汁、おにぎり（11月）...工事の方々を招待
- 餅つき...あんこ餅、紅白餅（10月）
- お楽しみパーティー...バイキングパーティー（2月）
- 夏野菜の栽培...トマト、なす、きゅうり、ゴーヤなど
- 梅ジュース作り...園庭の梅の木から収穫した梅の実と黒酢で。

#### 行事食

子どもの日（こいのぼりライスほか）

- 七夕 (ちらし寿司、天の川ソーメン、きらきらゼリー)
- 祖父母招待 (懐かしのお楽しみおやつ袋のお土産)
- クリスマス (星のクリスマスカレーほか)
- 節分 (鬼さんライス、豆まめサラダほか)
- ひな祭り (押し寿司、イチゴミルクほか)
- 卒園式 (マドレーヌの卒園プレゼント)

### 誕生会

毎月の誕生会には、その月に生まれた園児の保護者を招待し、親子で給食を食べ、お祝いをした。(3歳以上児クラス) 献立もその時季に合わせた旬の食材で、兄弟の月や昨年度と重ならないように工夫した。

その他、アレルギー除去食、離乳食など、一人一人に応じた献立作成をし、給食担当者、保育士、保護者が密に連絡を取り合いながら、安全でおいしい給食作りを行った。

### 保健・安全について

保健衛生マニュアルを基に、職員一同話し合い、共通理解のもと、園児の保健衛生指導にあたった。また、緊急時の対応についてクラスミーティング等で細かい分担や連携、応急手当てについて確認し、備えを固めた。

嘱託医による健康診断(入所時、6月、11月)、歯科検診(6月)の実施。

結果を保護者に伝え、必要な処置を促した。

身体測定(毎月)を行い、園児の成長・発達について確認し、記録する。

ギョウ虫検査(5月)...全園児異常なし

職員健康診断、成人病予防人間ドックを受診。

新型インフルエンザ対策...使い捨ておしぼり・ペーパータオルの使用

うがい・手洗い・消毒の徹底、中性電解除菌機能水の利用

安全指導では、毎月1回以上避難訓練・交通安全指導訓練を計画実施し、年に1回消防署と連携をとり、総合的な消防訓練を行い、自衛消防組織の強化に努めた。また、定期的に室内・園庭・遊具・玩具等を点検し、危険防止と安全の確保を心がけた。

### 施設整備について

安心子ども基金の補助事業として、園舎の全面改築が行われ、4月30日に起工式、10月31日上棟式、12月10日に完成園舎の引き渡しとなった。12月14日には完成の披露も兼ねて新園舎でクリスマスを行うことが出来た。その後、外構の工事が行われ、駐車場や園庭に降りるためのスロープ、枕木階段、トンネルのある築山などが整備され、3月20日には手直し工事はいくつか残っているものの一応の区切りとして工事の終了を確認しあった。工事関係者との定例工程会議は、12月26日までで24回行われ、その他にも随時に打ち合わせや話し合いをし、工事の進捗を確認してきた。設計担当者や工事の現場監督さんを始め工事関係の方々との良い信頼関係をつくれたことも感謝している。

先にも書いたが、今まで心配し不安だったところがクリアされ、安心して安全な園舎が与えられた。しかし、全部がクリアされたわけではなく、園庭の東側の柵は老朽化し錆や劣化が目立つし、上の園庭から下の園庭へ降りるスロープは土を入れても入れても雨で流され、コンクリートが出てしまう。今回手を入れられなかった整備についてはこれからも安全点検を徹底しながら計画立てていかなければならないし、新園舎についても屋根や雨樋に落ち葉が積もり、2階や屋上など職員だけでは対応できない清掃は業者に依頼することも含めて考えていかなければならないなど課題も残っている。

### 職員の資質向上について

今年度は、環境保育を学び実践していくことを年間のテーマにして、なるだけ多くの職員が研修の帰りなど様々な機会をとらえ、熊本市の白羊保育園を見学し、実際の環境保育のあり方を目で見、肌で感じ学ぶことが出来た。新しい園舎での保育環境設定を考える上で助けになればと思ったが、見学したそれぞれの職員がカルチャーショックを受けたようで、ちょっとした工夫で子どもたちの遊びが集中し、発展していくことに気付かされ、その後の保育に大いに影響があった。環境を整えることも大切だが、子どもの自主性を尊重すると言うことが実際にはどういうことなのか、しっかりと考え学びながら保育に活かして生きたいと思う。

その他の研修についても出来る限り多くの職員が多くの研修に参加し、学んだが、その学びを分かち合う時間がなく、園長とレポート提出時に確認しあうことにとどまっているので、改善していきたい。

### 派遣研修

4月	慈愛園新任研修 (15日) 荒尾市保育協議会総会及び研修会 (20日)
5月	コロンビアキッズ運動会研修会(6日) キリスト教保育連盟九州部会総会及び園長研修会(13, 14日) 県保協総会及び研修会(27日) 県保育協会前期新任研修(28, 29日)
6月	キリスト教保育連盟熊本地区春季保育者研修(1日) 全国私立保育園研究大会宮崎大会(5, 6, 7, 日) 県保協前期食育担当者研修(18日) 県保協2歳児担当者研修(20日) キリスト教保育連盟九州部会保育者研修会(20, 21日北九州) 県就学前部会人権「同和」教育研究大会 (24日) 九州セミナリオ施設職員研修会(25日)
7月	市保協主任会視察研修(4日) 人権同和問題講演会(6日) 熊本県保育推進連盟保育制度研修会(12日) 県保協就学直前児担当者研修(22日)
8月	ルーテル幼稚園保育園連合会夏期保育者研修会(5, 6日) 合志教会・荒尾教会合同修養会(17, 18日)

	県保協保育の記録研修会(19日) 荒尾市就学前主担者研修会(19日) 荒尾市同和教育研究大会(24日) 県保協緊急特別園長研修会(26日) 県保協後期食育担当者研修会(27日) 県保協発達障害基礎研修(27,28日)
9月	県保協保育指針研修会(3日) キリスト教保育連盟熊本地区秋季保育者研修会(7日) 県保育指針研修会(10日)
10月	熊本県発達障害支援者養成講座(10日) 県会計実務研修(15日) 市保協救急法講習会(24日)
11月	県発達障害支援者養成講座(5日) 市保護者会連合会研修会(9日) キリスト教保育連盟九州部会「こども子育て新制度を学ぶ」研修会(18,19日)
12月	キリスト教保育連盟熊本地区クリスマス(5日) 県保協保育問題セミナー(6日) 県発達障害支援者養成講座(13日)
1月	県発達障害支援者養成講座(11日) キリスト教保育連盟九州部会主任保育士研修(17,18日) 遊びのアトリエ講座研修会(31日)
2月	慈愛園3保育園第三者評価研修会(8日) 県保協後期新任保育士研修会(13日) 遊びのアトリエ講座研修会(14日) 県社会福祉協議会福祉サービス苦情解決研修(18日) 問題職員の対応勉強会(19日) 運営経理事務研修(19日) 遊びのアトリエ講座研修会(21日) 遊びのアトリエ講座研修会(28日)
3月	慈愛園新会計経理研修会(6日) 県保協臨時総会及び園長研修会(17日)

## 園内研修

園内研修では、参加した研修会の報告もかねて、担当者が資料などを用意し、参加者に分かり易く説明した。子どもが午睡している間の限られた時間なので、せっかく盛り上がってきたところで終わらなければならないこともあった。しかし、担当者の勉強にもなるので、今後もこの形で続けていきたい。

また、外部からは有明保健センター療育相談員の先生をお迎えし、実際に“気になる子”を見て頂き、その子の理解の方法やアプローチの方法を共に話し合った。時には保護者を交えて、園での様子、家庭での様子について情報交換しながら、最善の方法を探った。

カプラの研修は、職員会を予定していたところ突然業者さんが先生（カプラの達人）を連れてこられたので、急遽、遊具を準備して行ったが、先生たちが生き生きとカプラで遊び、製作し、楽しんだ。まだまだ引き出しの多い先生の様子なので、絵本や他の遊具についてのお話しも聞きたいと思った。

また、ここにはあげなかったが、今年は環境保育をテーマに、それぞれが本を読んだり、視察研修に出かけたりして感想を話し合ったり、実際行ってみたいの感想を言い合ったりして学んだ。

4月19日(金)	「園内の危機管理について」 担当者: 園保育士 参加者: (13名)
7月1日(月)	「保育の中での運動遊び」 担当者: 園保育士 参加者: (11名)
9月20日(金)	「2歳児の自我の育ちと遊びについて」 担当者: 園保育士 参加者: (8名)
10月15日(火)	「気になる子どもへの理解と対応」 担当者: 有明保健センター療育相談員 参加者: (4名)
10月30日(水)	「気になる子どもの関わり方と支援」 担当者: 有明保健センター療育相談員 参加者: (5名)
12月16日(月)	「困り感のある子どもへの支援と配慮について」 担当者: 有明保健センター療育相談員 参加者: (5名)
12月17日(火)	「気になる子への働きかけ、環境のつくり方」 担当者: 有明保健センター療育相談員 参加者: (5名)
2月4日(火)	「カプラで遊ぼう」 担当者: トムテ 笠井さん 参加者: (12名)
2月18日(火)	「子どもへの関わり方と支援について」 担当者: 有明保健センター療育相談員 参加者: (5名)



平成25年度 活動報告

2012年度 活動報告

月	日	園内行事	内 容
4月	1日	慈愛園辞令交付式	
	2日	職員会	2013年度運営基本方針について、入園進級式についてなど。
	4日	イースター礼拝	牧師先生は入れ替わりで不在。午後、牧師初来園。夕刻より有志で歓迎会。
	6日	入園・進級式、クラス懇談	入園と進級を祝う。式後、クラス懇談、保護者会役員選出。
		荒尾教会イースター礼拝	礼拝後、教会で茶話会。
	9日	小学校入学式	中央小学校入学式に園長が出席した。市内小学校に祝詞を送付。
		市保協主任会	毎月1回開催。後は省略。
	15日	合同礼拝・職員会	29日ファミリーデーのこについて話し合う。
		慈愛園新任研修	保育士1名、調理師1名が参加。
		保護者会役員会	会長、会計、書記など三役が決定。
	16日	キリスト教保育連盟熊本地区園長会	2013年度の事業計画、予算等が話し合われ、その後歓迎会が行われた。
	19日	誕生会	4月生まれの子どもの保護者を招待し、楽しくお祝いした。
		園内研修(危機管理)	
	20日	荒尾市保育協議会総会、講演会	北九州の産婦人科助産婦の先生の講演会。 命の大切さ、食の大切さを実感。
	25日	職員会	起工式の準備や役割分担など
26日	慈愛園 施設長連絡会議		
28日	ファミリーデー 保護者会総会	保護者会総会が行われ、その後、2～5歳児親子が6グループに分かれ、ゲームを競う。0,1歳児は室内でふれあい遊びや懇談会。	
30日	園舎改築工事起工式	荒尾市や地域の方々10数名、工事関係者、園児を代表して年長ゆりぐみが参加した。	
5月	2日	子どもの日	園児が作成したこいのぼりをもって記念撮影。行事食こいのぼりランチ。
	8日	コロンビアキッズ運動会研修会	保育士1名参加。
	9日	園舎立替工事定例工程会議	初めての定例会。工事関係者との顔合わせ。
	10日	職員会・健康福祉祭り実行委員会(第2回)	6月3日の健康福祉祭りについて話合われる。
	11日	母の日、合同礼拝、聖書研究	母の日のプレゼントを保護者に渡す。
	12日	教会役員会	
	11,12日	職員旅行	6名の職員が鹿児島旅行。
	13,14日	キ保連園長研修及び総会	宮崎青島にて。園長が出席。

	15日	市園長会	奇数月で開催。後は省略。
	17日	誕生会	5月生まれの子どもの保護者を招待。
	18日	保護者会連合会総会懇親会	市内の保護者会連合会の総会。園長、主任、保護者会会長が出席。
		教会役員会	礼拝後、教会にて。
	18,19日	職員旅行	6名の職員が鹿児島旅行。
	22日	バス遠足	PM2.5の影響で急遽目的地を佐賀市吉野ヶ里遺跡公園に変更。
	23日	ルーテル幼保役員会	ルーテル幼保保育者研修会について話し合われた。
		園舎改築工事定例工程会	原則として週1回木曜日1時半から開催。後は省略する。
	24日	合同礼拝	原則として毎週金曜日9時30分より行う。後は省略する。
		市保協救急法研修	保育士2名が参加。救急法について学ぶ。
		慈愛園施設長連絡会議	
	26日	小学校運動会	中央小学校運動会に園長が出席。
	27日	県保育協会、保育協議会総会、研修会	保育士処遇改善事業のについての研修があった。
	28日	職員会	
	28,29日	県保協前旗新任保育士研修	保育士が1名参加。
	30日	有明高校看護科実習オリエンテーション	8名の看護科学生が来園。
6月	1日	キ保春季保育者研修会	園長、保育士3名が参加。
	2日	健康福祉祭り	5歳児ゆりぐみが嵐の「フェイス ダウン」の曲でステージ発表する。
	3日	歯科検診	園歯科医より検診を受ける。
	5,6,7日	全国私立保育園研究大会宮崎大会	男性保育士が参加。
	8日	市保協保育士研修	ベビーマッサージの研修。園長、保育士数名参加。
	12日	健康診断	嘱託医による全園児の健康診断。
	8日	幼保小中連携連絡会	主任が出席。連携を深めた。
	14日	誕生会 職員会	6月生まれの子どもの保護者を招待。
	15,16日	職員旅行	職員6名が鹿児島旅行。
	18日	県保協前期食育担当者研修	栄養士が参加。
	20日	県保協2歳児担当者研修会	保育士が1名参加。
		社会保険説明会	事務職員が参加。
	21日	業者によるプール組み立て設置	プールの老朽化が判明。
	21,22日	キ保九州部会保育者研修(門司)	園長が参加。来年熊本で開催の為、その話し合いもされる。
	22日	地区講壇交換	牧師が荒尾教会に来られる。
	25日	九州セミナーオ施設職員研修会	園長、保育士2名が参加。
		健康福祉祭り実行委員会反省会	園長が出席。
	26日	避難訓練	地震を想定した避難訓練。
		職員会 教会役員会	
	28日	慈愛園施設長連絡会議	大分、別府にて。保育士1名参加。

7月	1日	園内研修(運動遊び)	
	4日	市保協主任会視察研修	水俣みどり保育園を視察
	5日	七夕まつり	笹竹の飾りつけ、記念写真撮影、行事食(ちらし寿司、天の川ソーメン)
		聖書研究	牧師による聖書研究
	6日	人権同和問題講演会	園長が出席
	10日	みやびしもコンサート	女性3人のピアノとフルート、オカリナのアンサンブルコンサート 子どもたちも静かに聞き、職員も美しい音色に癒された。
		職員会	
	12日	熊本県保育推進連盟保育制度問題研修会	園長が参加。保育制度についての講演
	13日	荒尾教会特別講演会	ルーテル学院大学清重先生による講演会
	16日	キ保園長会	
	19日	誕生会 職員会	
	22日	ルーテル幼保連合会役員会	夏季保育者研修会について話し合う。会場見学。
	23日	監査説明会	玉名地域振興局にて。園長が出席
	26日	慈愛園施設長連絡会議	
30日	市主任会荒炎祭準備会	荒尾市の市民祭りの山車の飾り付けなど	
8月	2日	苦情解決委員会	第三者委員に苦情を説明、お話を聞く。
		サマーナイトチャレンジ	年長児がカレーライス、サラダ、デザート夕食作り。 会食後、夜の保育園で宝探しのゲームや花火で楽しむ。
	3日	荒炎祭 教会役員会	市のお祭りの総踊りに参加。18:00～20:00
	5,6日	ルーテル幼保保育者研修会	
	7日	慈愛園給与規程についての話し合い	園長が出席
	9日	誕生会 職員会	
	12日	園内研修(下田)	
	17,18日	合志教会・荒尾教会合同修養会	園長、保育士4名参加
	19日	市同教就学前部会主催者研修会	保育士1名参加
		保育の記録研修会	保育士1名参加
	23日	慈愛園施設長連絡会議 リーダー会	
	24日	荒尾市市同教研究大会	保育士1名が参加
	26日	県保協緊急特別園長研修会	園長が出席
	27日	避難訓練	
		県保協食育担当者研修	栄養士が参加
	27,28日	発達障害基礎研修	保育士1名参加
29日	海陽中職場体験学習事前説明会	中学生5名来園。保育園見学と体験学習についての 心構えなどを説明	

	30日	職員会	午後より大型の台風が接近するとのことで、市からの連絡によりお迎えを早める等の対応を言葉掛けした。
	31日	市主催保育所研修会	台風の接近により開催を見合わせるとの連絡があった。
9月	3日	保育指針研修会	保育士1名参加
	6日	わがんせとの太鼓交流会	知的障害者施設わがんせの入所者さんと太鼓を通して年長児が交流。
	7日	キ保秋季保育者研修会	園長、保育士6名が参加
	9日	人形劇観劇	劇団杉の子による人形劇を観劇
	10日	保育指針研修会	保育士が1名参加
	11日	キ保園長会	園長が出席
	13日	誕生会	
		聖書研究	牧師による聖書研究
	17日	職員会	
	20日	おじいちゃんおばあちゃんの会	4,5歳児の祖父母を招待する。会場が狭く今年は会食を見合わせた。
		園内研修(2歳児の保育)	
	23日	ライトハウス60周年記念式典	園長が出席
24日	県保育大会分科会運営会議	発表者の保育士が出席	
27日	慈愛園施設長連絡会議、評議員会	園長が出席	
10月	3日	保育所指導監査	地域振興局よりの監査。
	4日	職員会 保護者会役員会	運動会について話し合う。
	10日	県発達障が支援者養成講座	担当保育士が参加
	13日	運動会	本部事務局より、理事長が来園
	15日	会計実務研修	事務担当職員が出席
		有明保健センターより来園、園内研修	2歳の園児の発達の状況を確認。療育指導員の先生来園
	18日	誕生会	
	22日	避難訓練(抜き打ち)	
		緑風園交流会	緑風園より都合が悪くなったと連絡があり、延期する。
	24日	市保協救急法研修会	2名の保育士が参加
	25日	慈愛園施設長連絡会議	
	27日	宗教改革記念礼拝	5名が参加
	30日	餅つき	子どもたちが食べるあんこ餅と明日の上棟式に投げるお持ちをついた。
園内研修		療育相談員と保護者、園長、保育士2名で話し合う。	
31日	上棟式	荒尾市行政の方々、建築関係者、地域の方々をお招きし、工事の節目を祝った。餅投げには4,5歳児が参加	
	1日	ボランティア活動の日	

11月	2日	シオン元気っ子まつり	子どもたち、職員がハロウィーンの扮装をし、踊りを披露した後、お祭りで各売り場で親子で買い物したり、ゲームを楽しんだ。
	5日	芋ほり	工事で今までの畑は使用できなかったが、園庭の小さな畑でできたお芋を収穫する。
	6日	保健センターよりブラッシング指導	6名の保健師さんや歯科衛生士さんが来園。4,5歳児に歯の大切さや磨き方指導。
	8日	誕生会	
	9日	荒尾教会召天者記念礼拝	
	11日	ふれあい動物園	ひよこ、ウサギ、ヤギ、ポニーなどの動物と触れ合い、エサをやったりして楽しんだ。
	13日	感謝祭	収穫物を飾り、感謝の礼拝と野外食。
		感謝訪問	4,5歳児が花束や果物をもって地域の工場などを訪問。
		いきいき健康づくり講座	園長が出席。
	22日	アドベント礼拝	
26日	職員会		
29日	アドベント礼拝		
	慈愛園施設長連絡会議		
12月	3日	職員会	クリスマスについて、役割分担 準備状況等
	6日	アドベント礼拝	
		保育問題セミナー	主任が出席。
	7日	キ保クリスマス	園長、保育士4名が出席。
	11日	職員会	クリスマスについて最終確認
		新園舎立ち会い説明会	園長、保育士6名、工事関係者として新園舎の使用法を確認。
	13日	発達障害支援者養成講座	保育士1名参加
	14日	クリスマス	新園舎にて全園児、全保護者。会場が狭く混雑した。
	16,17日	園内研修	先生による園内委員会
	20日	誕生会	
	21日	ありがとう、シオン園保育所園舎の会	解体される旧園舎のお別れ会。職員も含め100名以上が参加。
		荒尾教会クリスマス	
	22日	新園舎への引っ越し	保護者会のお父さん方、業者さん、工事の方々もお手伝いして下さい。
24日	おさんぽの日	新園舎周辺を散歩し、好きな所でお弁当を食べる。	
27日	慈愛園施設長連絡会議		
28日	御用納め		
1月	4日	始園	
	6日	職員会	
	9日	「地域のえんがわ」情報交換会	園長が参加

	園内研修	先生による園内委員会	
11日	発達障害支援者養成講座	保育士1名参加	
16日	平成26年度入所面接	荒尾市子育て支援課より3名来園、新年度の入所面接	
17日	誕生会		
17、18日	キ保主任保育士研修会		
18日	新年度採用者説明会	5名の採用者に説明する。	
	緒方先生叙職記念祝賀会	園長が出席。	
20日	苦情解決委員会	第三者委員3名が来園され、今年度後期の苦情について報告する。	
	3中校区校長園長会	中央小学校にて。	
22日	職員会		
24日	慈愛園施設長連絡会議		
27日	慈愛園評議員会		
2月	2日	荒尾市民マラソン大会	3歳以上の希望者が参加、ほとんどの職員が応援に行った。
	3日	スマイルミッション記念写真撮影	記念メッセージと写真を宇宙ロケットで打ち上げようという企画に参加
		まめまき	怖がって泣く子が多かった。
	4日	園内研修(カブラ指導)	カブラの達人が来園、急遽指導研修会となる。
		市同教就学前部会主催者研修会	園長、保育士が出席
	7日	熊本県保育研究大会	荒尾市にて行われる。園長、保育士4名参加、お手伝いも。
	8日	第三者評価研修会	愛光幼稚園にて。園長、保育士10名参加
	12日	園内研修	先生による園内委員会
	13日	県保協後期新任保育士研修	保育士1名参加
	14日	誕生会	
		遊びのアトリエ講座	保育士2名が参加
	15日	5歳児保育参観	
		荒尾市主催講演会	台風のため延期になっていた講演会が開催された。
		愛献の集い	保育士1名が参加
	18日	苦情解決研修会	苦情解決担当保育士1名が参加
		園内研修	先生による園内委員会、保護者も参加
	19日	運営経理事務研修会	事務担当職員が参加
	20日	職員会	
	21日	遊びのアトリエ講座	保育士2名が参加
	24日	5歳児クラスクッキー焼き	お楽しみパーティープレゼントのクッキーを焼いた。
25日	お楽しみパーティー	5歳児クラスの子どもたちプロデュースのバイキングパーティー	
27日	卒園記念写真撮影		
28日	慈愛園施設長連絡会議		

3月	3日	ひなまつり	
		職員会	
	5日	地区コーディネーター会議	保育士1名参加
	6日	法人新会計基準に伴う園内研修	事務担当職員が参加
	8日	新園舎落成式	多くのお客様が来援下さり、お祝いして下さった。無事にこの日を迎えることができ感謝である。
	12日	歯科検診	途中入所園児の歯科検診
		市保協給食担当者会議	栄養士が参加
	14日	誕生会 職員会	
	15日	新入園児説明会	
	21日	卒園式	30名が卒園。新園舎からはじめての卒園生を送り出した。
	22日	教会役員会	
	25日	職員会	
28日	慈愛園施設長連絡会議		
29日	保護者会懇親会	保護者会役員さんたちのお別れ懇親会	
その他	合同礼拝 (毎週金曜日 9:30~)	職員会 (最低月2回 1:30~)	
	絵画教室 (月3回 木曜日)	クラスミーティング (随時)	
	音楽リズム教室 (月2回 火曜日)	職員個別面接 (年1~2回)	
	体操教室 (希望者) (毎週火曜日5:30~)	身体測定(月1回)	

### 苦情解決業務について

社会福祉法82条により、次のように「苦情申し出窓口」を設置し、利用者からの苦情に適切に対応するよう努めた。

苦情解決責任者	福田 順子 シオン園保育所園長
苦情解決担当者	園主任保育士 園育士
苦情解決第三者委員	小学校校長 荒尾市民生委員児童委員 元荒尾地区保護司会事務局長

平成25年度は、次のような苦情に対応した。

#### 駐車場のマナーについて

周りを見ないで急発進したり、待っているのに割り込んで止められた。  
車にキズがついていた。分かっているのに謝らない。  
駐車場所でないところに駐車している。

#### 子どもの生活について

夜、寝ないのは園でお昼ねするせいではないか？

刃物（はさみ）を使わせるのは危ないのでやめてほしい。（2歳児クラス後半）

持ち物の入れ間違いがある。

水分補給のために2歳児クラスでも水筒を持って来たい。

水筒にはポカリスエットを入れてもいいのではないか？

クラス便りについて

白黒では分かりにくいのでカラーにしてほしい。

行事について

運動会の場所取りのくじは年長クラス優先にしてほしい。

以上、10件の苦情があった。10件のうち7件はひとりの方からの苦情である。駐車場が狭く、外構の工事中はとても迷惑を掛けしたが、職員も車の誘導に立ち、指示をしているにも関わらず、割り込んだり急発進したり、マナーの悪さには閉口してしまった。しかし、新しい駐車場が出来たことでその多くは改善された。今は駐車場に関しては、ほとんど苦情は聞かれない。その他の苦情は親の身勝手と言えるものもあるが、集団生活なので我慢することも必要であること、経費の都合上、無理があることも理解してほしいと思う。一つ一つの苦情に丁寧に対応しながら、説明し、理解を求めていきたい。

## その他

自己評価について...全職員が提出。

今年度は少しでも分かり易いように自己評価の様式を変え、項目を設け採点式にして、折れ線グラフで示した。それにより、ひとりひとりがわかりやすく、系統立てて自己評価ができたようである。それで分かったのが、経験が10年近い中堅の保育士たちも、慈愛園、シオン園保育所の理念について理解していないと自分では評価していることである。この点を踏まえ、次年度は保育のスキルばかりでなく、保育方針や保育理念についてもしっかりと学び、理解するために、その方向で園内研修を充実したい。

2013年度は園舎の建て替えと言う大きな事業の中で、慌しいが充実したみのり豊かな時間を過ごすことが出来た。安心して安全な園舎が与えられ、その中で毎日を子どもたちと共に楽しく過ごしているが、いまこそ「献身・謙遜・愛」の保育理念に立ち返り、子どもたち一人ひとりを大切に心育てる保育、キリスト教保育の実践につとめていかなければと思う。この環境の変化を受け入れながらも、変わることはないイエス様の御言葉を心に刻み、子どもたちに伝えながら、32人の保育者集団が協力して乳幼児の保育を進めていきたい。